


ニューノーマル時代の学級づくり ～心の通ったICT活用のために～

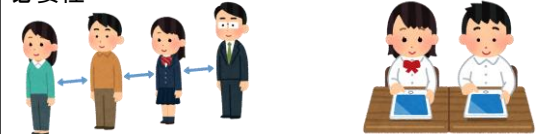
明 樂 五 月 
(岡山市立陵南小学校)

はじめに

学校の教育に関する環境の大変化

コロナウイルス対策のための物理的な距離をとる
必要性

ギガスクール導入によるICT教育環境の大変化



はじめに

情報教育を進める大きなきっかけにも コミュニケーションの多様化 (ビデオ会議, 掲示板, やクラウド活用)



◎時間や場所の縛りが少なくなった

はじめに

新たな課題も

情報端末利用の必要性
 • CBT(コンピュータを利用したテスト)の実用化
 • コンピュータネットワークを活用したコミュニケーションの必要性

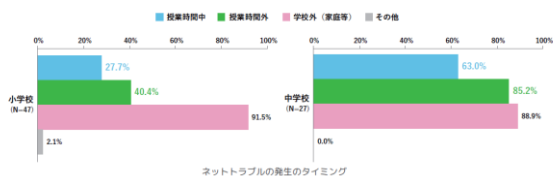
ネットトラブルに関わる可能性の増大
 • ネットもコミュニケーションの大切な一部に
 • 校内外でのネットトラブルの増大



クラスづくりという面でも
情報モラル指導がとても重要に

① ネットトラブルは校内で発生している(家庭の問題だけでなく学校の問題に)

管理職の回答によると、小学校、中学校ともに、ネットトラブルが校内(授業時間中、授業時間外)で起きていると回答しています。特に中学校の校内でのネットトラブル(授業時間中→63.0%、授業時間外→85.2%)は、小学校(授業時間中→27.7%、授業時間外→40.4%)の約2倍以上となっています。ネットトラブルは今や家庭の問題だけでなく、学校内の問題にもなっていることがわかりました。



<https://line-mirai.org/ja/download/>

情報モラル指導について

情報モラル教育とは「他者への影響を考え、人権、知的財産権など自他の権利を尊重し情報社会での行動に責任をもつことや、危険回避など情報を正しく安全に利用できること、コンピュータなどの情報機器の使用による健康とのかかわりを理解することなどの内容」のこと

https://www.mext.go.jp/IR_mnu/thing/ohousa/shotou/056/shinryo/otachi/1249674.htm

とくに

これまで以上に人と関わり社会に影響を与えやすいメディアを手にするので、人に迷惑を掛けず、余計なことをせず、注意されたことをやらず、自分の中に生まれる悪い心や欲求を抑える自制心を働かせることが求められる

情報モラル指導について

モラルに関する意識は、「頭で理解していく」ことから高まる部分もあるが、一方で、「理屈抜きで『こうするもの』と家庭でのしつけのように心に刻んでいくことも大切。

GIGAスクールでネットが身近になった分

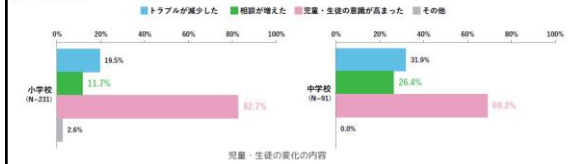
- これまで、ともすると家庭での働きかけに頼りがちだった情報モラル指導が、学校でも切羽詰まった課題として取り上げやすくなる。
- 学年の低い(年齢の低い)時期から、しつづ的に指導しやすくなる。

指導を受けた人の方が、行動変容の割合が高い

→指導の有効性

④教員による情報モラル教育の副次的効果として、校外での児童・生徒のネット利用にも好影響をもたらす(学校と家庭の接続の重要性)

教員の回答によると、小学校、中学校ともに、情報モラルの指導後に教員の約4割が、児童・生徒の私的なネット利用への変化を感じています。具体的な変化としては、「相談が増えた」「行動変容が高まった」(意識変容)が、小学校では82.7%、中学校では69.2%と最も高く、「相談が増えた」(行動変容)が、小学校では11.7%、中学校では26.4%となり、「トラブルが減少した」(結果変容)が、小学校では19.5%、中学校では31.9%となりました。意識変容のみならず、行動・結果変容まで現れていることが分かりました。教員・管理職の自由回答では、校外での児童・生徒のネット利用の適正化のためには、家庭との連携も重要となることが把握できました。



<https://line-mirai.org/ja/download/>

情報モラル指導のポイントなど

- 多様な考え方がある中で、画一的に安易な価値観を押しつけても、響きにくい。
- 子どもたちに自分自身のこととしてとらえさせ、自分ならどのように対応するか考えさせる工夫が必要。



情報モラル指導の例

「多様な価値観があることに気付く」

自分と相手とのちがいを②

- あなたが、クラスの友達からされて「いやだな」と感じる順番に上から並べてみましょう。
- 一層いやだと感じるカードを①選んだ理由を書きましょう。
- 一層いやではないと感じるカードを②選んだ理由を書きましょう。

① すぐに返信が来ない
② なかなか会話が終わらない
③ 知らないところで自分の話題が出ている
④ 話をしている時にケータイ・スマホをどわっている
⑤ 自分が一緒に写っている写真を公開される

• 同じ言葉でも人によって感じ方が違う
• 文字だけで伝えると感情が伝わりにくい

<https://line-mirai.org/ja/download/>

情報モラル指導の例

「画像の中の情報がはらむリスク」

写真を公開する前に①

- あなたなら、どの写真をネットに公開したいと思いますか。公開しても問題がないと思う順に上から並べてみましょう。
- どんなことに気が付きましたか。

① 1. 友達と遊ぶ写真
2. 家族と食事している写真
3. 学校の行事の写真
4. 友達と遊ぶ写真
5. 家族と食事している写真

② ① 友達と遊ぶ写真
② 家族と食事している写真

• 人によって公開してもよいと思う写真は違う
• 合わせて、一度公開した情報はすぐに拡散され、完全に消すことは難しいことを指導する。

<https://line-mirai.org/ja/download/>

まとめ

- 「指導すべき領域が増えた」
→「学校でのコミュニケーションが情報モラルの直接の教材になる」
＝我が事として指導できる機会が増える
- 端末の向こう側にも人がいることを忘れず、人を大切にする気持ちを育てる
- 1人1人の感じ方が違うことを忘れず、情報発信について考え続けること
- もちろん、コミュニケーションの基本となる対面の関わり方も、大切に